

「介護の魅力フェア」による将来的な人材確保活動

社会福祉法人 よいち福社会（北海道）

住 所 〒 046-0003
北海道余市郡余市町黒川町 19 丁目 1 番地 2

TEL 0135-22-5350

URL <https://www.fruit.or.jp/>

経 営 理 念 質の高い安心・安全な多様な福祉サービスが、その利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫する事により、利用者が個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成され、又はその有する能力に応じ、自立した日常生活を地域社会において営む事ができるような総合的なサービス提供機関を目指す。

事 業 内 容 及び 定 員 特別養護老人ホーム（118 名）1 か所（他ショートステイ併設 25 名）
地域密着型特別養護老人ホーム（29 名）1 か所（他ショートステイ併設 1 名）
デイサービスセンター（40 名）1 か所
デイサービスセンター（10 名）2 か所
グループホーム（計 17 名：2 ユニット）
（他共用デイ 3 名）
小規模多機能型居宅介護（登録 29 名定員）
訪問介護・訪問看護
サービス付高齢者向け住宅（24 名・26 名）2 か所
居宅介護支援事業所・余市町包括支援センター・余市町配食サービス
介護職員初任者研修事業
児童養護施設（84 名）1 か所
地域小規模児童養護施設（6 名）1 か所
にき保育園（50 名）

収 入
（法人全体）
平成28年度決算

① 社会福祉事業	1,377,124,462 円
② 公益事業	30,339,495 円
③ 収益事業	0 円

職 員 数
（法人全体） 264 名（非常勤含む）

当面する
経営課題

深刻な状況の介護人材不足解消
地域包括ケアシステムへの対応
地域公益事業の拡充

「介護の魅力フェア」による 将来的な人材確保活動

社会福祉法人よいち福祉会

特別養護老人ホーム フルーツ・シャトーよいち(北海道余市町)

よいち福祉会の概要



余市町 エリア (人口 19,359人)

特別養護老人ホーム
デイサービスセンター
デイサービスセンターぶらっとよいち・はくちょう
グループホーム
訪問介護・訪問看護・小規模多機能型居宅介護
サービス付高齢者向け住宅
小規模児童養護施設 ほか

仁木町 エリア (人口 3,362人)

児童養護施設
保育園
子育て支援センター

積丹町 エリア(人口 2,157人)

地域密着型特別養護老人ホーム

介護職員 新規採用の状況

- ・平成26年度 高校生2名
- ・平成27年度 高校生3名 専門2名 大学1名
- ・平成28年度 高校生1名
- ・平成29年度 高校生2名 専門2名 大学2名

数では減少傾向に見えないが、平成27年度から職員の身内、同一法人児童施設卒業学生の採用、就職ガイダンスの積極的参加による採用数

全国は130万人死亡、100万人の出生 30万人/年の減少

北海道の人口は537万人。平成7年から減少。札幌は増。195万人で札幌集中型。

福祉の学校は、学生減少により留学生の募集へ。

人材確保への取組

- ・小中学校との関係作り 総合学習学校訪問・喫茶店や行事ボランティアの受入れ
- ・学生アルバイトの受入れ 地元高校生3名の受入れ
- ・育休制度の積極的活用、同一法人の保育園の活用
育休からの復帰、保育園に預けて勤務
- ・学校で当法人就職ガイダンスの実施
専門学校・大学へよいち福祉会主催のガイダンス
- ・新卒就職支度金の準備 上限20万円
- ・当法人介護職員初任者研修による職員確保
- ・積極的な外国人の受入れ フィリピンEPA他

介護の魅力フェアの企画

- ・平成27年度から実施
地域公開講座と学生職業体験会
- ・職員と内容検討
職業紹介・試食・介護体験、記録入力・法人施設見学
- ・中学校と高校にチラシ作成PR
中学6校、高校4校に訪問
- ・公開講座は 27年度内科医師 28年度大学教授を講師として
- ・費用は施設負担 ……補助金は100万円以上の事業が対象

介護の魅力フェアの開催

- ①職業の紹介
 - ②試食・特養の食事を知る
 - ③介護する、されるの体験とPC・IPAD記録デモンストレーション
 - ④法人施設見学
- ・平成27年度 学生24名
 - ・平成28年度 学生22名(就職に2名繋がる)

介護の魅力フェアの効果

- ・施設のイメージが明るい方に変ったという声
まだ暗いイメージが払拭されていない業界
- ・食事が美味しい、こういう食事が提供されていると思わなかった。
日々の食事改善の重要性。より美味しい食事へ
- ・期待したいこと
将来的にこの職場を選択、地元に戻りたいという希望
- ・先生も参加。わかり易い内容、学生への職業紹介に役立つとの感想。
学校へのPR効果

介護の魅力フェアの今後

- ・補助金対象、100万円基準が無くなる
施設から遠方の学校にバスを出してより多くの学生に
- ・実施時期の再考または職業体験のみ春期に開催
早い段階から内定をもらう学生もいる
- ・実行委員会を作り、企画段階から現場の意見を多く取り入れる
特養全体、チーム活動として人材確保活動を一層進める